

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度（評価）	
A	：十分達成できている
B	：おおむね達成できている
C	：やや不十分である
D	：不十分である

1 前年度 評価結果の概要	<p>○保護者アンケート自由記述欄の多くの意見から、本校の教育活動への関心が高く期待が大きいことが窺える。また、今年度重点的に計画し取り組んできたことは、保護者や児童へのアンケート結果から、概ね達成できたことが読み取れる。</p> <p>○コミュニティ・スクールを活用し、来年度も地域に開かれた学校として、適切に情報を発信し、地域に学ぶ教育の推進に努めたい。本校教育目標を柱に、児童一人一人を大切に教育を進め、実態に応じた学力の向上、道徳教育の推進、健康・体力作り等にさらに力を入れ、知・徳・体のバランスのとれた児童の育成に努めたい。また、さらに全職員で共通理解・共通実践できる体制を整えていきたい。</p>
2 学校教育目標	<p>「おおいに学び やさしく まっすぐ伸びる」大山っ子の育成 ～「知・徳・体のバランスの取れた児童の育成」～</p>
3 本年度の重点目標	<p>①学力の向上…主体的な学びを促す算数科学習指導方法の研究～対話活動を取り入れて～ ②心の教育の充実…「特別の教科道徳」の全面実施に伴う指導方法の改善と教材の共有化を図る。 ③健康安全教育の充実…体力の形成と運動能力の向上を図る運動環境の充実</p>

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者		
重点取組			具体的取組		中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)			進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価			意見や提言
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師85%以上	・学習状況調査結果の分析を行い、児童のつまずきや授業改善のポイントを明らかにする。		B	・校内研修(算数科)での共通理解・共通実践を中心に、全職員で学力向上に取り組んだ。	A	・新型コロナの影響で、学力向上対策評価シートに、マイプランの成果指標をせせなかつたが、「12月調査」の結果は、4～6年生の全教科で県の平均を上回った。	A	・今年も、県の平均を上回ったのは、ありがたい事である。ますます磨きをかけてほしい。	教務部	岩永 松田
	○「基礎基本の充実」と「活用力」の向上と、「分かる授業」の工夫、実践、授業以外の学力向上へ向けての取り組み	○「授業が分かる」と回答する児童の割合を85%以上にする。	・「西部型授業」の学習過程を基本とし、「対話活動」の場を確実に設定する。 ・授業や「学力向上タイム」を効果的に活用し、基礎学力の向上に努める。		B	・児童の実態に応じて個別指導をしたり、学習内容に応じて授業形態を工夫したりした。新型コロナウイルス感染症の影響により、アンケートは未実施である。	A	・児童の実態に応じて個別指導をしたり、学習内容に応じて授業形態を工夫したりした。「授業が分かる」と回答した児童の割合は、94%であった。	A	・「授業が分かる」と回答した児童の割合が、94%とはすごい。さらに、家庭学習でも、自ら考えて学習するよう指導してもらいたい。		教務部
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○自分と他人との違いを認め、「自分には良いところがある」と85%以上の児童が感じることができる。	・道徳の時間の充実に努め、「考える道徳」の実践を継続する。 ・「Q-Uテスト」を分析し、学級の実態を捉え、個に応じた指導を充実させる。		B	・様々な活動で振り返りの活動を行い、できたことを称賛しあっていた。新型コロナウイルス感染症の影響により、アンケートは未実施である。	A	・様々な活動で振り返りの活動を行い、できたことを称賛しあっていた。「自分や友だちの良さを見つけられる」児童が92%というの、大変嬉しいことである。これからは是非がんばってほしい。	A	・「自分や友だちの良さを見つけられる」児童が92%というの、大変嬉しいことである。これからは是非がんばってほしい。	道徳教育推進教師 特活部	福田 中村
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○普段の観察や児童とのコミュニケーションを強化し、保護者やスクールカウンセラーとの連携を図る。	・定期的にいじめ調査(職員・児童・保護者)を行い、実態把握に努める。 ・週1回の連絡会で、気になる児童の情報共有を行い、組織として対応する。		B	・普段の観察や児童とのコミュニケーションを強化し、保護者やスクールカウンセラーとの連携を図って、いじめの未然防止、早期発見・対応に努めることができた。	A	・いじめ調査と心のアンケートの実施、普段の観察等の強化で、いじめの未然防止、早期発見・対応ができた。「友だちの気持ちを考えて行動できる」児童は97%であった。	A	・「友だちの気持ちを考えて行動している」児童が97%というの、素晴らしいことである。是非継続してほしい。	教頭 教育相談	古川 小川
	◎志を高める教育	○自らの夢をもち、その夢や目標の実現に向けて努力したいと考えている児童を90%以上にする。	・教科等、学校行事等を通して、夢や目標に考えさせる時間や場面を設ける。 ・キャリアパスポートを活用し、将来への目標意識を育て、自信や誇りを高める。		B	・具体的取組が功を奏し、自らの夢をもち、夢の実現に向けて努力したい児童が育つようになった。新型コロナウイルス感染症の影響により、アンケートは未実施である。	A	・「自らの夢をもち、その夢や目標の実現に向けて努力したい」と考えている児童が90%であった。具体的取組が功を奏した。	A	・「自らの夢をもち、その夢や目標の実現に向けて努力したい」と考えている児童が90%というの、大変嬉しいことである。我々も応援していきたい。	教務部	岩永 古川
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」	○本校生徒指導重点目標「挨拶」「たてわり掃除と集団登校」「学校のきまり遵守」ができた児童を90%以上にする。 ○朝食摂取率90%以上を目指し、保護者への啓発活動を行う。	・生活のめあての内容を、毎月の重点指導内容に位置づけたり、良好項目については随時承認・称賛したりする。 ・年2回「おにぎり弁当の日」を設定し、家族で「食」を考える機会を設ける。		B	・要生活指導事項は、その都度指導した。児童は、落ち着いた生活ができるようになってきた。 ・年2回「おにぎり弁当の日」で、家族で「食」を考える機会を設けた。 ・「学校安全総合支援事業」の指定を生かし、より実践的な研修の場を設定することができた。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、アンケートは未実施である。	A	・要生活指導事項は、その都度指導した。達成率は、「挨拶」95%、「たてわり掃除」98%、「集団登校」90%、「学校規則遵守」99%であった。 ・年2回「おにぎり弁当の日」で、家族で「食」を考える機会を設けた。 ・「学校安全総合支援事業」の指定を生かし、より実践的な研修の場を設定することができた。児童の交通事故は、0(ゼロ)であった。	A	・「挨拶」95%も、とても嬉しい。朝、交通指導で立っていると、遠くからあいさつで呼びかけてくれる子も多い。あいさつの様子でその日の調子分かることもある。引き続き「笑顔であいさつ」を心がけて続けてほしい。 ・親が朝食を摂らせられない家庭への指導は、是非行ってほしい。 ・「学校安全総合支援事業」の指定は、刺激になった。見守り隊等で協力しているが、警察OBのご指摘などは、とても勉強になった。	生活部	池脇
	●「安全に関する資質・能力の育成」	●児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする	・避難訓練、防犯教室、交通安全教室等を実施する。 ・安心、安全な学校づくりに努める。		B	・今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が運動面には直接響いた。様々なことで入力は行った。新型コロナウイルス感染症の影響により、アンケートは未実施である。	B	・今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が運動面には直接響いた。様々なことで入力は行った。具体的な目標の達成率は84%であった。	B	・今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が大きいので致し方ない。むしろ、いろいろと学校は工夫してくれたと感謝している。	保体部	千々岩 野田
	○体力の向上及び運動能力の育成	○「進んで運動に取り組んでいる」と回答する児童の割合を85%以上にする。	・「朝の運動」「みんなで遊ぶ日」を設定したり、持久走やなわとびカードを配布(活用)したりして、外遊びや運動を奨励する。		B	・今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、アンケートは未実施である。	B	・今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、アンケートは未実施である。	B	・今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、アンケートは未実施である。	教務部	古川 岩永
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する。	・稼業日平日は、18時まで、定時退勤日(毎週金曜日)は、17時半までに全員帰宅の、確実な実施を行う。 ・稼業月時間外勤務40時間以内実施。		B	・具体的取組は、概ね達成できた。新型コロナウイルス感染症の影響により、アンケートは未実施である。	A	・具体的取組は、概ね達成できた。「働き方改革」を意識し、効率的な業務の遂行を心掛けている」と回答した教職員は91%であった。	A	・学校の「働き方改革」の取組が、少しずつ地域にも浸透してきている。保護者や地域の理解も非常に大切である。	教頭 教務部	古川 岩永
	○学校運営組織力の向上	○組織体制の効率化と機能の強化と会議や事務の効率化、校務の能率化。	・会議時間の設定や資料の事前配布等を確実に実行。 ・主に企画委員会で行事・企画を精選し、組織的に活動しやすい環境整備。		B	・今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、出張が極端に少なく、補欠指導に余裕があった。	A	・級外職員の、担任への協力・支援は、十分に行われていた。また、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、出張が極端に少なく、補欠指導に余裕があった。	A	・学校と一緒にやっていくという保護者や地域の自覚が、さらに必要だと思う。	教務部	岩永 古川

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者		
重点取組			具体的取組		中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)			進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価			意見や提言
○「地域に学ぶ」教育の推進	○地域の人的・物的資源の活用	○「ふるさと大山にほこりをもち、ふるさとが好き」と回答する児童を90%以上にする。	・各教科や総合的な学習の時間などを意図的に関連づけ、児童の思いや願いを考慮し、体験活動を重視した学習を仕組む。		C	・コロナにも拘わらず、可能な範囲ながら、地域の方々に、温かく協力していただいた。新型コロナウイルス感染症の影響により、アンケートは未実施である。	A	・「意欲的に地域に学ぶことができた」と回答した児童は、93%であった。コロナ禍にも拘わらず、可能な範囲ながら、地域の方々に、温かく協力していただいたおかげである。	A	・「意欲的に地域に学ぶことができた」と回答した児童が93%とは、とても嬉しい。コロナ禍だったが、可能な範囲ながら、協力してきた甲斐があった。	教務部	岩永
○学校の対応	○保護者の思いや願いへの対応	○「学校は、保護者の相談や要望に誠実に対応している」と実感する保護者の割合を90%以上にする。	・保護者の願いや要望等については、「迅速・誠実・丁寧」を合言葉に組織として対応することを徹底する。		B	・保護者の思いや願いにはしっかり対応している。新型コロナウイルス感染症の影響により、アンケートは未実施である。	A	・具体的目標の達成率は96%であり、保護者の思いや願いには誠実に対応している。	A	・達成率が96%は、素晴らしい。保護者の願いや要望等について、学校が「迅速・誠実・丁寧」を念頭に、取り組んできた成果だろう。	教務部	岩永 古川
○情報発信	○学校からの情報発信・情報収集	○「学校はよく情報を伝えており学校の様子がよく分かる」と回答する保護者の割合を85%以上にする。	・学校便りや保健便りなどを定期的に発行したり、HPなどで学校の様子を知らせたりする。また、メール配信機能「はなまる連絡帳」を効果的に活用していく。		B	・学校の教育活動への関心は高い。新型コロナウイルス感染症の影響により、アンケートは未実施である。	A	・回答した保護者の割合は、「学校の様子がよく分かる」93%、「授業参観や懇談会へ参加している」87%であった。学校の教育活動への関心が高い。	A	・学校便りや学級通信、日々の連絡帳等での連絡を丁寧に行っているからだろう。忙しいだろうが、HPや「はなまる連絡帳」への要望にも、少しずつ応えていってほしい。	教務部	岩永 千々岩

5 総合評価・次年度への展望	<p>●…果共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育</p> <p>・本校の教育活動への、保護者や地域の関心が高く、期待が大きいことが、保護者アンケートの自由記述欄に、たくさんの意見や提言をいただいたことから窺える。また、保護者や児童へのアンケート結果から、今年度重点的に計画し取り組んできたことは、概ね達成できたことと考える。 ・来年度も地域に開かれた学校として、コミュニティ・スクールを活用し、適切に情報を発信し、地域に学ぶ教育の推進に努めたい。本校教育目標を柱に、知・徳・体のバランスのとれた児童の育成をめざし、児童一人一人を大切に教育を進め、実態に応じた学力の向上、道徳教育の推進、健康・体力作り等にさらに力を入れていきたい。また、さらに共通理解・共通実践できる体制を、全職員で整えていきたい。</p>
----------------	--